

行くだけじゃ面白くない!

大人の 「ひねり旅」 指南



最終回

まだまだあるゾ!
人生を素敵に楽しくさせる
本当の「ひねり旅」

DiThi (ディシー) 代表
観光ホスピタリティコンサルタント

石田 宜久

URL <http://www.dithi.net>

E-mail info.contact@dithi.net

オリジナル旅をシェアする

これまで様々な旅の仕方を指南してきましたが、著者が所属する観光業界では、人々は「どこに行くか?」ではなく「何をしに行くか?」で、旅先を思考すると認識してビジネスに取り組んでいきます。せっかく時間を取って旅に出るのですから、旅先での体験一つひとつに「ひねり」を加えることで、より楽しい、思い出深い経験が可能になります。そこで、最終回の今号は、これまでに紹介できなかった、まだまだある「ひねり旅」を紹介します。

本連載「ひねり旅」指南で、最初に取り上げたのが「旅の作り方」でした。自分で作る旅だからこそ、ひねりを加えオリジナルなものにしてほしいとお伝えしました。しかし中には、せっかくいい旅を企画立案したので、他者にも味わってもらいたいという願望があるかもしれません。実は、今、それが叶うのです。

あなたが考える「こんな旅がないな」「こんなことしたら面白い



trippiece



共感トラベラー

Supported by JTB

トリップピース <http://trippiece.com/>
共感トラベラー <http://kyokantraveller.jp/>

うだ」という旅企画を、SNS型のネットサービスに投稿し、それを見た人たちが共感したら…。すると実際の旅行会社が、その企画をツアーとして採用できるかを検討します。可能であると判断されれば、商品として共感を得た人たちとツアーを実施するわけです。ケースによっては、旅行会社の企画として一般向けに商品化されることもあります。現在あるSNS型サービスは「共感トラベラー」と「トリップピース」。特に、共感トラベラーは大手旅行会社の「JTB」が運営、トリップピースには「HIS」も賛同していることもあり信頼性は抜群です。

自分のひねり旅が、もしかしたら他者に希望を与えるかもしれない。もちろん、逆のケースを経験してみるのも面白いでしょう。

グルメ旅もひねってみよう

「旅に食は付き物」。各地で地域色を生かしたグルメが生まれ、訪れる観光客の舌を満足させています。連載第6回で「ゲテモノ」グルメのひねり方を紹介しましたが、それだけにこだわる必要もありません。

例えば、世界展開の「マクドナルド」であれば、地域限定の商品はぜひ味わってほしいものです。著者も海外旅行の際には必ずマクドナルドに立ち寄り、その国ならではの、商品にトライします。日本であれば「てりやきマックバーガー」に「エビフィレオ」。この限定メニューは、マクドナルド発祥地アメリカでは食べることができません。

一時期、米マクドナルドに販売を嘆願し、署名活動まで行われた

ここまでコアだと圧巻な「ひねり博物館」 ～世界編～

連載第6回で、マニア・コアな空間を味わえる深い世界の博物館を紹介しました。ところが世界は広いもので、まだまだコアな深い世界を味わえる博物館が存在するのです。ほんの一部ですが、ぜひ一度は訪れてみたい博物館を紹介しましょう。



■「Museum of Witchcraft」(イギリス)

ハリーポッターの舞台でもあるイギリスには、魔法を紹介する博物館があります。「Witchcraft」つまり魔女の魔術。呪いやまじないを唱えるときに使う道具などが展示されています。世界規模の旅行口コミサイト、トリップアドバイザーでも非常に高い評価を得ている博物館で、こぢんまりしていますが、普段味わう事のできない魔法世界に浸れること間違いありません。



■「National Museum of Funeral History」(アメリカ)

国立の葬儀史博物館。世界でも「葬儀」に関する展示をしている博物館はなかなかありません。少々恐そうなイメージもありますが入館してみると、そこはなんと芸術的な空間が広がっています。日本の霊柩車も展示されており、これからもイメージ出来る様に綺麗に装飾された様々な棺車がおさめられています。また、葬儀に関する歴史資料展示もあり、時代と共に変化してきた、その様子が分かります。



■「Devil's Rope Museum」(アメリカ)

裏の世界三大発明の一つとも言われる「有刺鉄線」。たしかに有刺鉄線で区域分けする習慣は世界中にあります。その有刺鉄線を専門展示してあるのがココです。有刺鉄線の歴史はもちろん、非常に多くの種類が展示され、見ごたえ充分です。見かけることはあっても、あまり近づくことのない有刺鉄線をじっくりと眺めてみると、知らなかった事実が見つかったりして、世界観が広がること間違いありません。



米マクドナルドには「マックベジ」を求める8万人署名の嘆願書が届いた



ニュージーランドで販売されている「キウイバーガー」

また、日本とは赤道をはさんで地球の逆側、南半球に位置するニュージーランド(以下NZ)。ここには、同国内のみでしか食べることができないハンバーガー「キウイバーガー」があります。

ベジタリアン向けハンバーガー「マックベジ」。元をたどると生まれるはインドです。ヒンドゥー教徒が約8割を占めるインドでは、その習慣から牛肉を口にすることができずベジタリアンも多いことから考え出されたのが、このマックベジです。これは、インドだけではなくマレーシアやシンガポールでも人気のようですが、日本では販売されておりません。

スペインで販売されている「ガスパチョ」



「キウイ＝Kiwi」(NZの国鳥、その鳥に似たNZ特産のフルーツ、そこでNZ人をキウイと呼ぶ)、つまり、キウイバガーとは、フルーツのキウイが入っているわけではなく、NZの食生活に深く根付いている食材が挟まっているハンバーガーなのです。

トマト、玉ネギ、レタス、卵、パティ、チーズ、トマトソース&マスタード、そしてビート。あまり潰して食べると、ビートの真っ赤な汁でベチャベチャになってしまい、服に付くとなかなか落ちないのが少々ネックですが…。

そしてスペインでは、なんと国民的商品がマクドナルドでも食べられるのです。それが「ガスパチ

ョ」、スペインでは定番の様々な野菜をミキサーにかけた冷製スープです。これがなかなか侮れません。ファースト・フードのガスパチョだからと、油断して口にする

と本格的な味わいに驚きます。このように世界シェアのマクドナルドには、様々な地域オリジナル商品があります。ここで全てを紹介することはできませんが、世界を旅する際に、ぜひ訪れて食べてみましょう。

世界を巡るハートある旅

「バレンタインデー」や「いい夫婦の日」などに向け、テレビや雑誌で特集が組まれる「ハート型スポット」を紹介します。

①ダイビングスポット

その先駆的な存在は、世界中のダイバー憧れの地、オーストラリアのグレートバリアリーフにある「ハートリーフ」です(写真左下)。この機会に、ダイビング体験もしてしましましょう。

②空からバードビュー

ニューカレドニアは海と緑の自然豊かな国。同国のグランデール島のマングローブの森にあるのが「ハートマングローブ」です(写真右下)。残念ながら個人で行くにはヘリをチャーターしなくてはならず、少々見ることが難しいスポットです。

そこで、日本人オーナーのギフトショップ「ラ・ボン・ブーシエ」で、ハートをモチーフにしたチョコクレートをお土産にはいかがでしょうか。場所は人気スポットでありヌメア市民憩いの場、ヌメア・ココティエ広場にあります。

③屋久島の切り株

縄文杉で有名な屋久島。森の入り口から縄文杉へ向かう途中にあるのが、屋久杉の切り株「ウイilson株」です(写真右上)。中に入れる数少ない切り株で、そこから見える景色がハート型。とても有名なスポットですが、看板があるわけでもないのです、通り過ぎに注意してください。

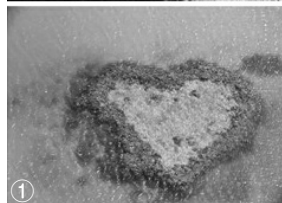
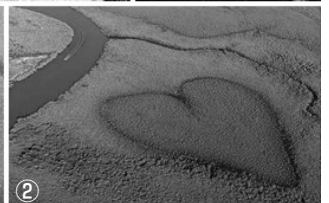
③



④



②



④テレビ小説で全国区に

国内でもう一つ、NHKの連続テレビ小説『愛と純』で一躍有名になった「ハート岩」(写真左上)。沖縄県宮古島市の池間島にあり、人気ダイビングスポットとしても知られています。夏には、絶好の夕陽スポットになり、最近では大型の観光バスも入ってくるようになりまし。落ちていて眺めるというわけにはいかないかもしれません。

探すと意外と多くあるもので、世界はハートで溢れている!?

世界を巡るハートある旅

行先知らずの「ミステリーツアー」

ツアー日程

日	予定
1	新宿(1050発)→上野(1140発)→とある場所(自由散策)→東京の新名所が 目前のホテルで握り寿司付和食ビュッフェの昼食(約90分)→とある場所(見学/日本の 伝統文化に触れましょう)→とある区間は英やかりに水上バスで移動! >> とある 場所(見学)→各地着(18:00~20:30予定)
お食事: 朝: × 昼: 夕: ×	

ツアーアイコンの説明

バス	列車	飛行機	徒歩または自由行動
水上交通	ケーブルカー	ロープウェイまたはリフト	
食事	弁当	温泉	

クラブツーリズム ミステリーツアー

<http://www.club-t.com/special/japan/mystery/>

ツアー日程表にはあり得ない「とある場所」の文字です。もしかすると、初めて行く場所かもしれませんし、何度か訪れた場所かもしれません。それも含めて運試しです。また、自分の選択した行き先ではないので、自分の経験値や期待値では選択しないエリアに連れて行ってくれるワクワク感があります。まだ知らない新しい発見に出合えるかもしれません。

この「行先知らずのミステリーツアー」は国内に限らず、海外旅行編もあります。さすがに、行き先の国は、出発の1週間程前に知らせてくれますが、申し込み時には分かりません(国を指定するツアーもあり)。いよいよ行き先不明のツアーが現れました。これこそ、ひねり旅の真骨頂ツアーなのかもしれません。

ミステリーツアーというと、地域(訪れる場所)にある「謎を辿る旅」がこれまででした。しかし、昨今のミステリーツアーは少々違い、「参加者も行き先を知らないツアー」を総称しています。ツアーに参加して、どこに連れて行かれるのか不明…、まさしくミステリーです。

左は、実際に大手旅行会社「クラブツーリズム」のホームページにある、都内ツアー日程です。そこで目を引くのが、旅行日

おわりに

連載9回にわたる「行くだけじゃ面白くない! 大人の「ひねり旅」指南「はいかがでしたか。」

「ガイドブックやインターネットに載っている情報をベースにした旅」「旅行会社が提供しているツアー」などは、安心して楽しめます。

しかし「誰もがやっている同じことで、満足できますか?」。会社経営に携わる読者の皆様においては、旅と仕事でも同じことが言

えるのではないのでしょうか。ひねりを加えることで、本当に満足できる旅や仕事になってきます。紹介した内容は、ほんの一例にすぎません。世の中には、まだ知らない旅や出会い、アイデアが転がっているはずですよ。

誰もが旅を提案し作れる時代になりました。ぜひ、あなたも「自分らしい旅」を求めて、ひねりに時間を注いでみてください。必ず素敵な経験になります。

それでは、よき旅(人生)をお楽しみください!

運もプランのうち! 天候も旅計画に!!

やはり、旅で気になるのが天候。せっかくの旅も荒天では…。と思われがちですが、そうとは言い切れないのが旅なのです。例えば、「日本のマチュピチュ」と言われる天空の城、兵庫県朝来市の「竹田城」。兵庫県を代表する観光地で、ドラマや映画のロケ地になったこともあり、その人気は多くの観光客が認めています。

しかし、そんな竹田城ですが、真骨頂は曇りがちな日に現れる「雲海に浮かぶ竹田城」です。すっきりとした天気から望める景色もいいのですが、雲海の景色はなんと幻想的。当然、天気に絶対はありません。



「運」が味方になってくれることを祈って旅することになるのです。